

実践紹介集（令和3年度）

浜田市まちづくり総合交付金事業（課題解決特別事業）

地区	No.	事業名	実施団体名
浜田	1	幻の広浜鉄道「今福線」ガイドの会育成事業	佐野・宇津井地区まちづくり推進委員会
金城	2	屋外用販売テント（移動式店舗）整備事業	今福地区まちづくり委員会
	3	地域活動施設設置事業（芋洗い機収納庫）	
弥栄	4	地域が一体となってまちづくりを推進するためのセミナー等開催事業	弥栄のみらい創造会議
三隅	5	地域内の経済循環による活力創出事業（オーニング設置およびタープテント保有）	黒沢まちづくり委員会

事業報告書
(課題解決特別事業)

申請団体名：佐野・宇津井地区まちづくり推進委員会 [令和3年度採択分]

令和3年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名
幻の広浜鉄道「今福線」ガイドの会育成事業

事業費（予算額）：563,000円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：500,000円）

P 事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

- ・広浜鉄道今福線を「未来に引継がれ、地域の宝となる。」べく地域一体となって、守り・育てる為に、今福線の案内役としてボランティアガイドの育成を行う。

D 事業の概要

- ・ボランティアガイドの育成の為、今福線「ガイド」の会を結成し（参加会員 25 名）にて活動を行っています。ガイド技術の向上を図る為に、本年は講習会を 5 回実施した。（座学講習会を 3 回、現地講習会を 2 回）又現地案内を 6 回行い、その内の全国未成線サミットエクスカーション案内を、沢山の見学者の方々に好評をいただいた。
- ・啓発用 DVD 作成を実施した。（作成数 300 個）全国未成線サミットで啓発用として 100 部配布した。今後は見学者の方々に PR し活動資金の協力をお願いしたい。
- ・全国未成線サミットの成功の為、地元として（佐野・宇津井地区）最大の協力を行い、当日はおもてなしを実施し、見学者の方々に好評を博した。

C 課題の解決度合（10 段階の自己評価）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
								○	

上記評価の理由

- ・まだまだガイドの技術の向上が必要と思う。
- ・今後若い世代に引継ぐ必要がある。
- ・今福線の知名度を上げる為の努力が必要である。

A 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を 10 に近づけるために）

- ・ガイド技術向上の為の講習会を実施する。
- ・若い世代のガイドを呼びかけ育成する。
- ・市を含む関係機関と連携して、今福線の知名度を上げる努力をする。
- ・次世代に引継ぐべく環境整備に努める。
- ・地域一体となって、今福線のガイド育成事業を継続して行う。



事業報告書

(課題解決特別事業)

申請団体名：今福地区まちづくり委員会

[令和3年度採択分]

令和3年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名

屋外用販売テント（移動式店舗）整備事業

事業費（予算額）：283,580円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：283,580円）

P 事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

- ・「保護者世代女性組織」の活動拠点整備を行う事により、地域行事や各種イベント時に、子供や若年女性の参加を促し、子供を巻き込んだ社会教育機会の創出、高齢者から若年層を取り込んだ「世代間交流」及び地域づくりの実現を図る。

D 事業の概要

- ・「ゆるり」のメンバーが「もやい市」や「盆踊り」などの地区内イベント行事へ参加し、今までにない新しい商品を提供することで地域行事を盛り上げる。
- ・保護者世代女性組織が活動することで、課題だった幅広い年代の地域行事への参加を実現させる。
- ・採択後に屋外用販売テントを作成し「もやい市」での出店を開始する。

C 課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

				○					
--	--	--	--	---	--	--	--	--	--

上記評価の理由

- ・「ゆるり」による“ハンバーガー等”の販売は、子どもから高齢者までの世代間交流があり大変好評であったが、コロナ感染拡大予防のため、多くのイベントが中止となり、保護者世代女性組織が企画していた催し物等ができなかったため、解決度を5とした。

A 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- ・この事業の目的は、「保護者世代女性組織」が、文化的行事や催し物が盛んな今福地区の“賑わい創出”の一翼を担う事であり、無理なく持続できるよう、会員同士がコミュニケーションを取りながら若年層を取込んだ企画を行う。



事業報告書
(課題解決特別事業)

申請団体名：今福地区まちづくり委員会 [令和3年度採択分]

令和3年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名
地域活動施設設置事業（芋洗い機収納庫）

事業費（予算額）：486,640円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：486,640円）

P 事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

- 芋洗い機の収納庫について、ゴミステーションを改修整備し、活動拠点である今福まちづくりセンターのもやい市付近に移管設置する。
- 会員個人宅の借用を解消することで、多くのさつま芋栽培農家の皆さんが利用しやすくなり、労力の軽減と効率化を図る。

D 事業の概要

- 芋洗い機の収納庫を確保することで、個人宅の負担を解消する。
- 活動拠点付近で作業ができることで、労力の軽減と作業の効率化が図られ、多くのさつま芋栽培農家の皆さんが利用しやすくなり、栽培を手掛ける農家戸数を増加させる。採択後に、改修・移転を行う。

C 課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

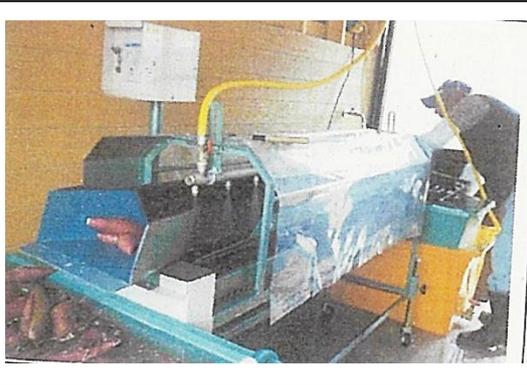
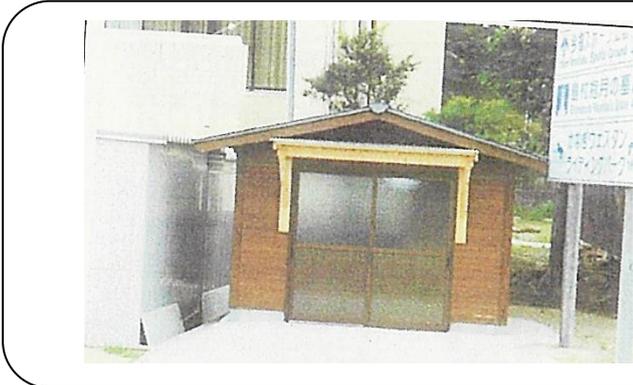
					○				
--	--	--	--	--	---	--	--	--	--

上記評価の理由

- 労力の軽減と作業の効率化が図られたが、設置・移転の遅延や、情報、啓発活動の不足から、さつま芋栽培農家の利用が少なかったため、解決度合を6とした。

A 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- 地産地消と遊休農地の解消を目的に、まず、さつま芋栽培農家の増加を図り、「ほっかほっか会」や栽培農家の効率的な施設利用により、イベントやもやい市・産直市等への販売や収益増加に努める必要がある。



事業報告書
(課題解決特別事業)

申請団体名：弥栄のみらい創造会議 [令和3年度採択分]

令和3年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名
地域が一体となってまちづくりを推進するためのセミナー等開催事業

事業費：572,467円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：495,000円）

P 事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果
〈目的〉住民の意見を取り入れた未来像を実現するため、「弥栄地区まちづくり計画」を作成。
〈成果〉未来像を共有することで、まちづくりの必要性に対する理解が深まり、まちづくりを「我がこと」として捉え、主体的な取組が期待できる。

D 事業の概要
・「弥栄地区まちづくり計画」を作成するために、9月以降月一回のペースで会議を重ね、合計10回の会議を開催した。
・会議は、弥栄のみらい創造会議の4つの部会からそれぞれ2名、合計8名で行った。

C 課題の解決度合（10段階の自己評価）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
							○		

上記評価の理由

- ・だれが見ても理解しやすい内容の計画書ができた。（計画書は別紙のとおり）
- ・小、中学生の意見も反映することができた。

A 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- ・弥栄地区まちづくり計画書を周知するために、推進委員の推薦団体に出向き、計画書等の説明をする。
- ・SNSを利用して、リアルタイムの情報をアップし情報の共有化を図る。



生きる術
の^{すべ}ある町 弥栄

弥栄地区まちづくり計画

2021年度～2030年度

数字で見る弥栄

今から10年後、みなさんは何歳ですか？その時、弥栄はどんな町になっているでしょうか？2021年の弥栄の姿を知り、これからのまちづくりの基準とするために、主な数字をまとめました。まちづくりを進めていく上で、これらの数字を定点観測していきます。

人口 市福 1,163 人	平均年齢 防自 57.9 歳	要支援要介護認定者数 市福 190 人	転入者数 防自 14 人
世帯数 市福 645 世帯	高齢化率 市福 51.6 %	敬老福祉乗車券対象者 防自 497 人	転入者平均年齢 防自 41.0 歳
出生数 市福 3 人	児童数 防自 37 人	神楽社中所属者数 産建 36 人	学校給食の地元食材使用率 (金額ベース) 産建 7.8 %
保育園入所数 市福 29 人	生徒数 防自 20 人	神楽社中平均年齢 産建 47.5 歳	除雪回数 産建 11 回
農地の作付面積 産建 231.5 ha	農家戸数(生産者数) 産建 234 人	猟友会会員数 産建 31 人	市道草刈りの延長 産建 99,601 m
有機ほ場の作付面積 産建 19.4 ha	有害鳥獣害捕獲数 産建 87 頭	猟友会平均年齢 産建 65.6 歳	\ 書いてみよう /  今のあなたの年齢 <input type="text"/> 歳 2030年のあなたの年齢 <input type="text"/> 歳
診療日数 診療 267 日	患者数 診療 1,077 人	主観的健康感率 市福 72.2 %	
訪問診療回数 診療 39 回	医師数 診療 1.2 人	社会参加率 市福 42.6 %	
消防団員数 防自 70 人	弥栄支所職員数 防自 25 人	まちづくりセンター利用者数 防自 6,784 人	
消防団員平均年齢 防自 52.8 歳	自主防災組織設立数 防自 14 団体	データの所管先 市福：市民福祉課 防自：防災自治課 産建：産業建設課 診療：弥栄診療所	

10年ビジョン

生きる術^{すべ} のある町 弥栄

今後10年間、わたしたちが守り継ぎたい弥栄の姿、それは「生きる術のある町」です。産業、手仕事、食文化、伝統芸能、野遊びの経験、住民同士の交流など、わたしたちがこの町で日々繰り返していることこそが、この複雑で見通しが困難な現代における「生きる術」そのものなのです。

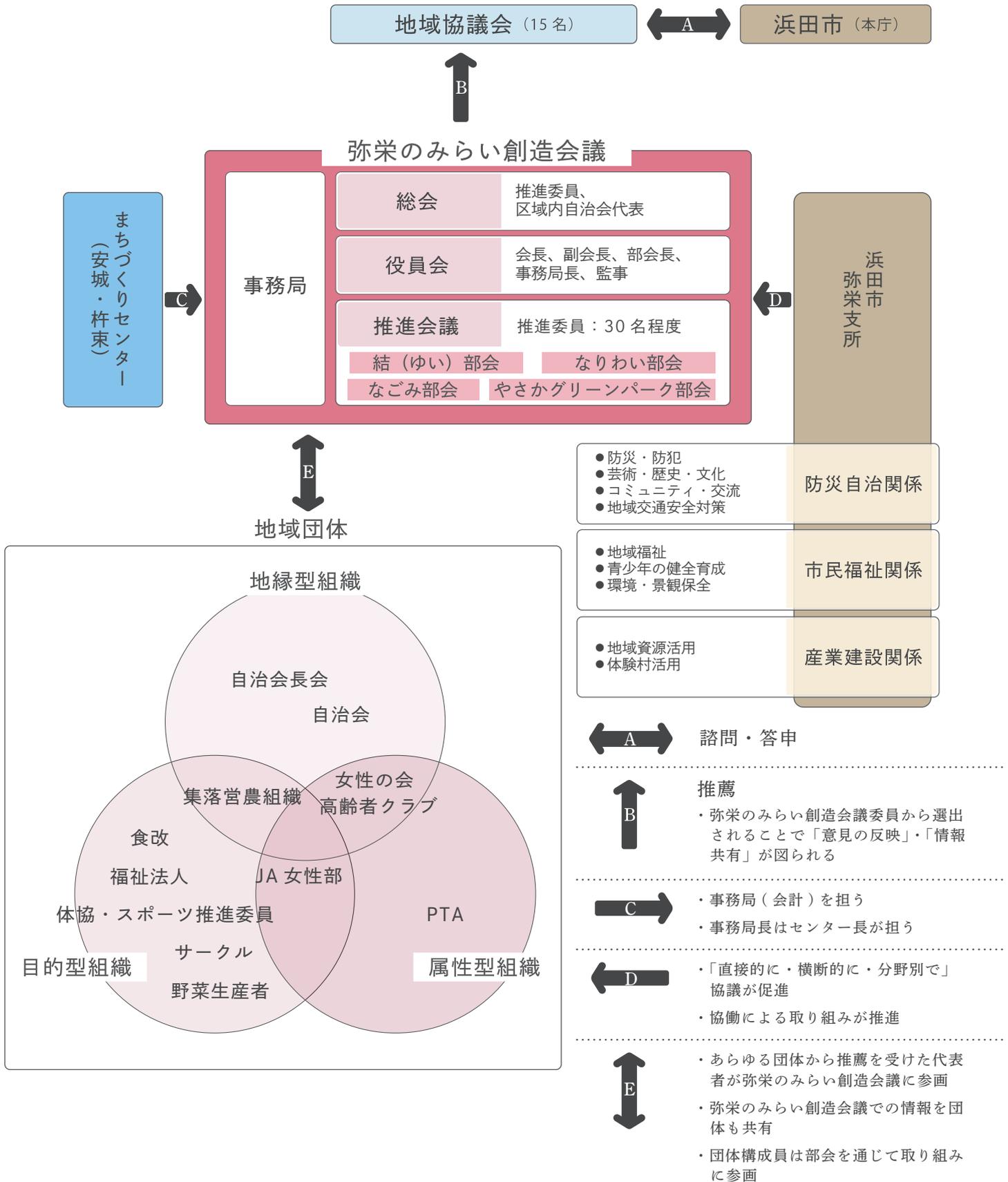
わたしたちの暮らしを形成する「生きる術」に光をあて、大切に次の10年に引き継ぐことが、いま弥栄に生きるわたしたちに求められていることです。

また、それは同時に、変化も求められていることも意味します。時代の流れに柔軟に対応するしなやかさこそが、中山間地で暮らすわたしたちに必要な新たな「生きる術」です。

「不便がなんだ!わたしたちには『生きる術』がある!」

10年後の弥栄に住む人たちもそう誇れるように、10年間のまちづくりに取り組みます。

まちづくりの体制



弥栄地区まちづくり計画とは

今後、自主・自立のまちづくりに向け、より良い地域づくりを行っていくためには、まずそこに暮らす地域住民が、自らの住む地域を見つめ直し、地域の目指すべき将来像や地域課題・生活課題をその地域に住む住民みんなで共有することが重要です。

多くの住民が参画し、日ごろから感じる課題や望ましい将来像をお互いに出し合い、取りまとめ、誰が、何を、何時までに、どんな資源を使って、どう実践したらいいのか、を明記したものが「地区まちづくり計画」になります。
(浜田市「地区まちづくり計画」策定のすすめより)

弥栄地区では、2021年度～2030年度を地区まちづくり計画の対象年度とし、本計画を立てました。本計画は、まちづくりの方向性をまとめたものであり、具体的な事業に関しては、以下の4つの部会が中心となり事業立案し、部会ごとの事業計画を取りまとめます。

4つの部会

結(ゆい)部会

地域の防犯及び防災、地域文化の継承及び創出、地域コミュニティの維持及び形成に関すること。

なりわい部会

地域資源の活用に関すること。地域の生活に根付いた「ワザ」「モノ」「コト」を活用した産業の活性化に関すること。

なごみ部会

地域の環境及び景観の保全、青少年の健全育成、健康福祉の向上、生活基盤の確保に関すること。

やさか グリーン パーク部会

おもてなし・地域づくり・学びの拠点とした「ふるさと体験村」の利活用と、地域を応援してもらえる交流人口の拡大に関すること。

0～19歳 のみなさんとつくる弥栄

方向性	取り組み内容	担当
弥栄の自然 に学ぶ	<input type="checkbox"/> 里山・水辺で遊ぶ体験 ……………	ゆい なり なご
	<input type="checkbox"/> 地元の産業体験 ……………	なり
	<input type="checkbox"/> 自然素材・食材を使った商品開発 ………	なり
	<input type="checkbox"/> 防災教育・避難訓練 ……………	ゆい 市
弥栄の 歴史文化を 継ぐ	<input type="checkbox"/> 神楽・田囃子・盆踊り等の体験・継承 ……	ゆい
	<input type="checkbox"/> 弥栄の歴史を伝える ……………	ゆい
子どもが 主役の まちづくり	<input type="checkbox"/> 子どもと町との交流の継続 …………… (1/2 成人式・二十歳の集い・運動会など)	ゆい まち
	<input type="checkbox"/> 「子どもまちづくり委員会」の継続 ………	ゆい まち
	<input type="checkbox"/> 高校生との交流の場づくり ……………	ゆい まち

0～19歳世代
に聞いた

“10年後の弥栄”
への想い

- 自然は今のままで、お店が少し増えてほしい
- どんな人がきても、住みやすい弥栄
- 小さい子が増えて少子高齢化がない弥栄にしたい
- 弥栄だからできるようなことをする（浜田市内ではできないことをして、魅力を上げる）

 結 (ゆい) 部会	 なりわい部会	 なごみ部会	 やさかグリーンパーク部会
 全部会共通	 まちづくりセンター (安城・杵束)	 市役所・支所	

方向性	取り組み内容	担当
自然を通じた交流	<input type="checkbox"/> ふれあい学校 (地元小・中学校、大学) ……	
	<input type="checkbox"/> 農泊による自然体験の受け入れ (県外) ……	 

町外の子ども・保護者に向けた取り組み

学びの魅力化と発信	<input type="checkbox"/> 複式学級の良さを伝える ……	 
	<input type="checkbox"/> 図書館バスを出す ……	
	<input type="checkbox"/> 教育の ICT 化 ……	
	<input type="checkbox"/> 世界とつながる教育 ……	

- 林業に携わる人が増える
- 最低限コンビニやスーパーはあってほしい
- 自慢できる町
- 気軽に帰って来れる場所
- とりあえず弥栄が存続していることを願う

0~19 歳世代に“継ぎたい術”

- ▶ 自然をうまく利用できる力
- ▶ 自分とふるさとを大切に思う心
- ▶ 外遊びを楽しむ力
- ▶ 神楽などを大好きでいる心

20～44 歳 のみなさんとつくる弥栄

方向性	取り組み内容	担当
子どもの成長に関わる	<input type="checkbox"/> 地元の方が講師になるふるさと教育 ……	共通
	<input type="checkbox"/> 学校給食への地元食材の提供 ……	なり
	<input type="checkbox"/> 遊び場の環境づくり …… (里山・水辺・体験村・公園など)	共通 市
	<input type="checkbox"/> 相談できる居場所づくり ……	ゆい なご
	<input type="checkbox"/> マジスクールの継続 ……	ゆい まち
	<input type="checkbox"/> 保育所・小中学校の維持につながる …… 地域の関わり	ゆい なり なご まち
産業・起業の基盤づくり	<input type="checkbox"/> 加工産業の拡大 ……	なり 市
	<input type="checkbox"/> 草刈り・除雪の仕事化 ……	なり 市
	<input type="checkbox"/> 起業の促進 ……	なり グリ 市
地域経済の循環づくり	<input type="checkbox"/> や市の集客強化・魅力化 ……	共通
	<input type="checkbox"/> どぶろくの里の復活 ……	なり グリ
	<input type="checkbox"/> おいしい村の具現化 ……	なり グリ

20～44 歳世代
に聞いた

“10年後の弥栄”
への想い

- より多くの地元の方が弥栄へ帰って来て弥栄を守っていく町にしたい！
- 若い人のやりたいことに共感して応援できる弥栄
- 昔の風習ばかりに囚われずのんびり生活できたら良いと思う
- 今ある施設を腐らせず、道猿坊公園や体験村も活用し、来る目的がある町にしたい

 結（ゆい）部会	 なりわい部会	 なごみ部会	 やさかグリーンパーク部会
 全部会共通	 まちづくりセンター（安城・杵束）	 市役所・支所	

方向性	取り組み内容	担当
出会い・交流 の場づくり	<input type="checkbox"/> 運動会・モルック・や市などの継続……	  
	<input type="checkbox"/> 体験村を会場とした企画 ……………	 
	<input type="checkbox"/> 大人の農業体験・交流の場づくり ……………	 
	<input type="checkbox"/> 田植え・稲刈りツアー ……………	 
地域の 担い手づくり	<input type="checkbox"/> 人材の見える化 ……………	
	<input type="checkbox"/> 課題解決型の競技の企画（草刈りなど）……	 
	<input type="checkbox"/> 自然保護親子観察会 ……………	  

町外の 20～44 歳に向けた取り組み

新たな暮らし の支援	<input type="checkbox"/> 家のバリアフリー・リフォーム講座……	
	<input type="checkbox"/> お試し移住の仕組み・体制づくり ……………	

- 保育園から中学校まで一貫した教育の取り組みができる弥栄
- 高校生が自宅から通える交通機関の確保
- 交通、お店、医療、介護、子育てに困らない町
- サスティナブルな自立した地域

20～44 歳世代に “継ぎたい術”

- ▶ まちづくりに関わる
- ▶ 弥栄のことを伝えることができる
- ▶ 自分の家を守る、よく帰ってくる
- ▶ 近所の力を借りて安心して子育てをする

45～64 歳 のみなさんとつくる弥栄

方向性	取り組み内容	担当
子どもの成長に関わる	<input type="checkbox"/> 地元の人が講師になるふるさと教育 ……	共通
	<input type="checkbox"/> 学校給食への地元食材の提供 ……	なり
	<input type="checkbox"/> 遊び場の環境づくり …… (里山・水辺・体験村・公園など)	共通 市
	<input type="checkbox"/> 相談できる居場所づくり ……	ゆい なご
	<input type="checkbox"/> マジスクールの継続 ……	ゆい まち
	<input type="checkbox"/> 保育所・小中学校の維持につながる …… 地域の関わり	ゆい なり なご まち
働く場づくり	<input type="checkbox"/> テレワークができる環境づくり ……	市
	<input type="checkbox"/> 地域資源を使った産業づくり ……	なり
弥栄の環境を守る	<input type="checkbox"/> 鳥獣害対策 ……	なり 市
	<input type="checkbox"/> 防災訓練・集落ごとの避難訓練 ……	ゆい 市
	<input type="checkbox"/> 山林の保持または継承 ……	なり
	<input type="checkbox"/> 各種研修会・自然保護活動 ……	ゆい なご

45～64 歳世代
に聞いた

“10 年後の弥栄”
への想い

- 人口減少しても、住み続けることのできる地域
- 子どもも一度は都会で生活しても弥栄に戻ってきてほしい
- 弥栄町をフィールドにした教育地域
- 田んぼが残っていてほしい
- テレワークやオンライン診療等もできる、住みやすい町

-  結（ゆい）部会
-  なりわい部会
-  なごみ部会
-  やさかグリーンパーク部会
-  全部会共通
-  まちづくりセンター（安城・杵束）
-  市役所・支所

方向性	取り組み内容	担当
交流のある コミュニティ づくり	<input type="checkbox"/> 行事を通じた交流の促進 ……………	 
	<input type="checkbox"/> 町内外の人同士の集い場づくり ……………	 
福祉の体制 づくり	<input type="checkbox"/> 認知症サポーター研修 ……………	
	<input type="checkbox"/> あいサポーター研修 ……………	
	<input type="checkbox"/> 共生社会の実現（見守りを継続）……………	 
弥栄の 未来づくりを 担う	<input type="checkbox"/> 体験村の後方支援をする ……………	 
	<input type="checkbox"/> 空き家対策 ……………	 

- 地元民、地元以外を問わず、働き盛りの家族が住みたいと思う環境にしたい
- 雪・自然を生かした観光（例：キャンプ場やかまくらなど）

45~64 歳世代に “継ぎたい術”

- ▶ 地域行事に積極的に参加する
- ▶ 若い世代に力を貸す
- ▶ よく働く
- ▶ 生涯現役のために基礎体力をつける

65 歳以上 のみなさんとつくる弥栄

方向性	取り組み内容	担当
健康の維持	<input type="checkbox"/> 集会・学びの場づくり ……………	ゆい なご
	<input type="checkbox"/> 町内運動会・モルックの継続 ……………	ゆい なご
	<input type="checkbox"/> 認知症予防の推進 ……………	なご
	<input type="checkbox"/> 認知症になっても暮らせる環境づくり ……	ゆい なご 市
	<input type="checkbox"/> 健康寿命を維持するための食改善 ………	ゆい なり なご
活躍の 場づくり	<input type="checkbox"/> 65 歳以上でも働くことができる場づくり	なり グリ
	<input type="checkbox"/> 特技が活きる企画・活動づくり ……………	ゆい なご
	<input type="checkbox"/> 若年層と関わる場づくり ……	ゆい なご
	<input type="checkbox"/> まちづくりセンターでの発表の場づくり	ゆい なご まち

65 歳以上世代
に聞いた

“10 年後の弥栄”
への想い

- 子ども、若者のたくさんいる弥栄になったら良いね
- 限界集落の垣根を越えて支えあえる人間関係が出来る町が良いと思います
- 人口は減るかもしれないが、子どもの声が聞こえる町でありたいです
- 医療や交通機関もきちんとあって安心して暮らせたらいいなと思っています
- 楽しく素朴に暮らせるまちがいいですね

-  結（ゆい）部会
-  なりわい部会
-  なごみ部会
-  やさかグリーンパーク部会
-  全部会共通
-  まちづくりセンター（安城・杵束）
-  市役所・支所

方向性	取り組み内容	担当
移動・買い物 環境の存続	<input type="checkbox"/> 買い物先を維持する	
	<input type="checkbox"/> 買い物の仕方の選択肢を増やす	  
	<input type="checkbox"/> デマンドタクシーの運行	 
福祉の体制 づくり	<input type="checkbox"/> 福祉情報を一元化する	 
	<input type="checkbox"/> よろず相談の仕組みづくり	
弥栄の 歴史文化の 伝承	<input type="checkbox"/> 神楽・食など弥栄の文化・歴史・産業を 伝承する	 

- 山、森林を生かした生活基盤もできたらな
- 浜田市を支える町
- タクシーがもっと楽に乗られるように
- 古くから食べていた食品を取り入れた食生活による長寿日本一のまちになる

65歳以上世代に“継いでもらいたい術”

- ▶ 近所との付き合いを保つ
- ▶ 心身の健康
- ▶ 弥栄の文化の継承
- ▶ 自分の財産への責任
- ▶ 現役で働く
- ▶ 子ども達と関わる・見守る
- ▶ 趣味を楽しむ
- ▶ 困った時に相談する

情報発信の考え方

← 町内対象

町外対象 →

0～19 歳

子ども・若者の目線を生かした発信
(発信することで弥栄を知り、誇りを育む)

弥栄の自然環境や食、保育・教育環境などを伝え、交流人口を獲得するような情報発信

20～44 歳

まちづくりの活動人口が増えるような情報発信

45～64 歳

弥栄の暮らしをありのままに伝え、交流から試住、移住へとつなげる発信

65 歳以上

わかりやすい、まとまりのある情報発信

弥栄のまちづくりの取り組みの告知と開催報告を掲載する

弥栄町
みらい便り

SNS
Facebook や
インスタグラムなど

見逃してほしくない情報をプッシュ型*で伝える

*登録しておけば自動的に届く情報

公式
LINE

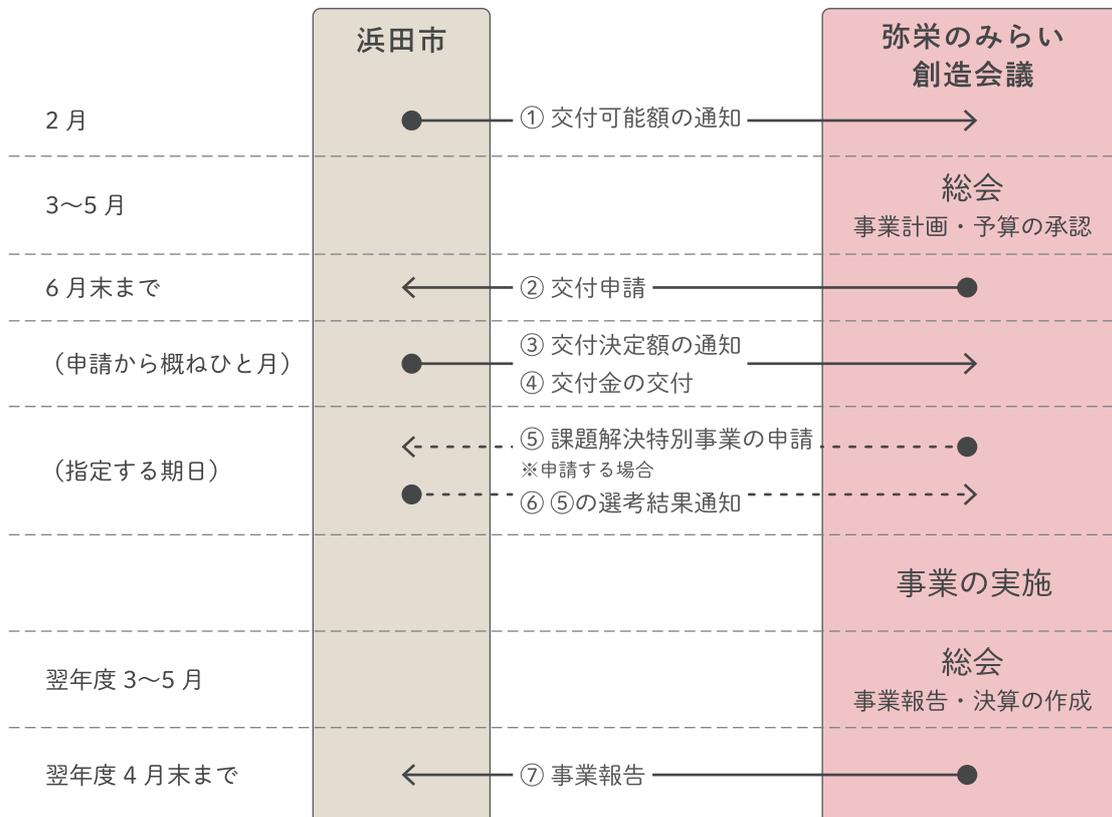
住まい・仕事・子育ての情報や住民インタビューを掲載する

ホーム
ページ

まちづくりの流れ・相談について

まちづくりの流れ

浜田市まちづくり総合交付金活用事業の概ねの流れは以下のとおりです。まちづくりに関するご相談は随時受け付けています。



■浜田市まちづくり総合交付金：地域課題の解決や特色を活かしたまちづくりを推進していくための活動財源となる交付金

■課題解決特別事業：地域として特に重要又は喫緊の課題を解決するために取り組む活動を支援する交付金（1事業あたり限度額50万円～200万円）

お問い合わせ先

まちづくりに関するご相談は事務局（各まちづくりセンター内）までご連絡ください。事務局より各部会におつなぎします。

＼ なんでもお問合せください ／

- 新しい活動をしたい
- 弥栄で行われている活動に参加したい
- まちづくりに関する相談がしたい
- まちづくりセンターの使い方を知りたい
- 弥栄の暮らしのことを知りたい など

弥栄のまちづくり
に関する最新情報は、
弥栄のみらい創造会議の
Facebook をご覧ください



<https://www.facebook.com/yasakaMS>

事務局

やすぎ

安城まちづくりセンター 月曜日～金曜日：8:30～17:15

〒697-1211
島根県浜田市弥栄町長安本郷 544-1

TEL 0855-48-2917 FAX 0855-48-3251

✉ yasugi-k@ph-hamada.jp



きつか

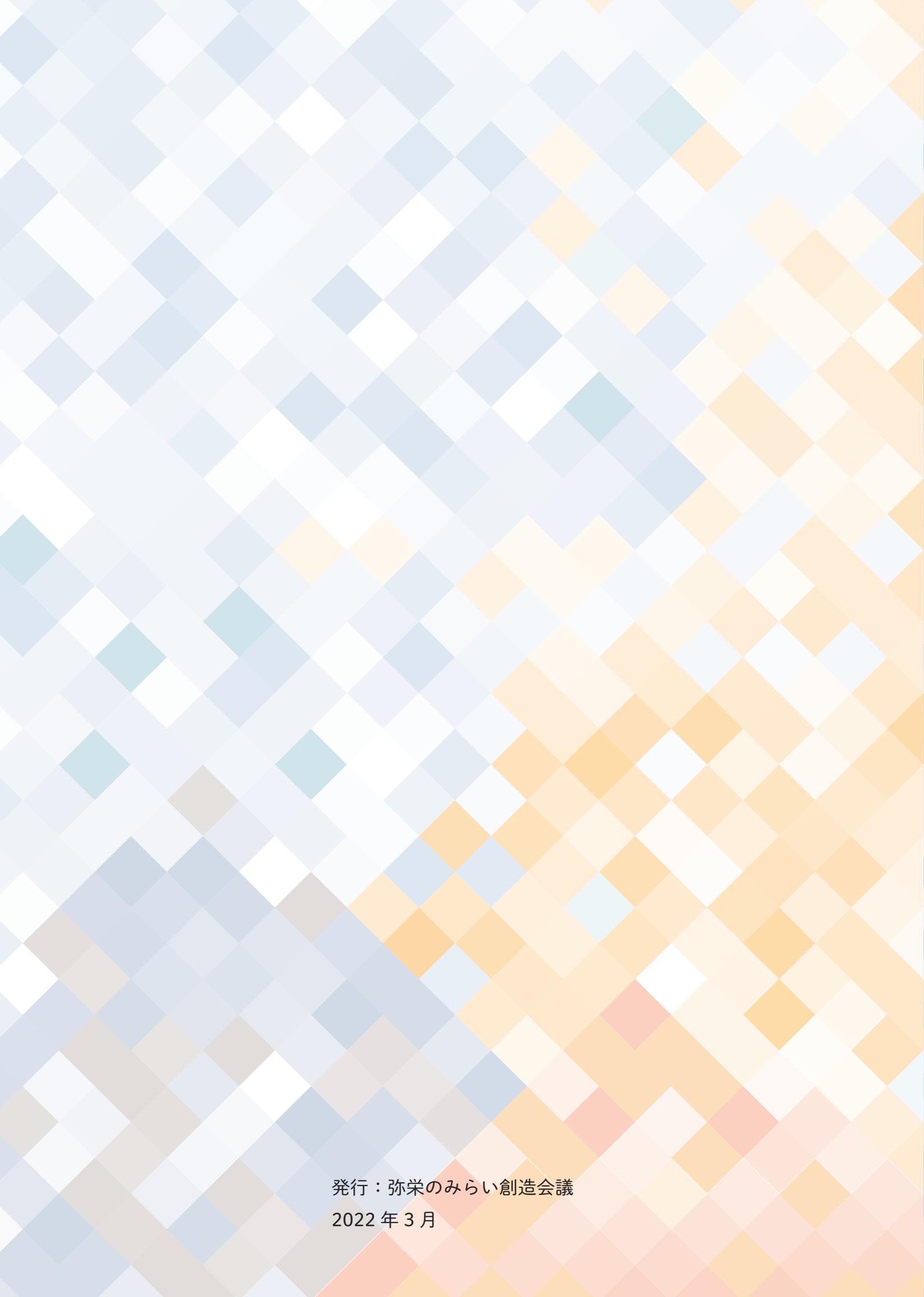
杵束まちづくりセンター 月曜日～金曜日：8:30～17:15

〒697-1122
島根県浜田市弥栄町木都賀イ 526-4

TEL / FAX 0855-48-2258

✉ kitsuka-k@ph-hamada.jp





発行：弥栄のみらい創造会議

2022年3月

事業報告書
(課題解決特別事業)

申請団体名：黒沢まちづくり委員会

[令和3年度採択分]

令和3年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名

地域内の経済循環による活力創出事業（オーニング設置及びタープテント保有）

事業費（予算額）：616,000円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：500,000円）

P 事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

- ・オーニングやタープテントを活用することで、事業実施時の労力を軽減し、地域民の参加を容易にすることで、担い手不足を解消する。
- ・地域内外の人が地域行事に積極的に関わってもらうことで、各事業を円滑に推進し、笑顔で暮らせる持続可能な地域づくりを目指すことができる。
- ・「いいね、黒沢。」米の出荷用袋詰めも、備蓄冷蔵庫の近くで作業できるうえ、地域住民の活動の増加や事業の継続性が見込まれる。

D 事業の概要

- ・オーニングを黒沢まちづくりセンター前の倉庫全面に取り付けて、敷地内の色々なイベント行事に使用する。早速、直近であった「黒沢六地藏道ウォーク」時に、オーニングとタープテントを広げ、野菜を並べ産直市を開催した。
- ・これから季節に合わせて、春には桜の下でお花見や異世代七夕交流会、夏にはかっぱランド夏祭り、秋には地域民大運動会等で継続的に活動に使用していく。

C 課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

									○
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

上記評価の理由

- ・オーニング設置とタープテントの保有により、場所をとらず、様々な事業に少ない労力で各事業の準備ができる。

A 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- ・高齢化が非常に高い地域のため、地域民が参加しやすいように活動時の環境を工夫する。
- ・少ない労力で各事業を展開することで、関係人口づくり事業と地域を食でつなげる事業にさらなる発展を期待し、活動を続ける。

